

# かえる あつまれ！

## ゆかいなかえる

ジュリエット・ケペシュ ぶん・え いしい ももこ やく 福音館書店 Eーキ

みずのなかにかえるのたまごがありました。そこへさかながやってきてたまごをたべてしまいますが、4つのたまごはぶじでした。やがてたまごはおたまじゃくしからかえるになり、もぐったりおよいだりしてあそびます。

## おひめさまとカエルさん

ハーヴ&ケーテ・ツェマック 文 マーゴット・ツェマック 絵 福本 友美子 訳 岩波書店 Eーツ

あるひ、おひめさまはひとりでボールなげをしていると、あやまってボールをいけにおとしてしまいました。とろうとしてもてがとどかず、おひめさまはなきだしてしまいました。するとそこへともだちのカエルがやってきて、なんでそんなにないているのかとたずねます。

## ぼくのだ！わたしのよ！

### 3びきのけんかずきのかえるのはなし

レオ=レオニ 作 谷川 俊太郎 訳 好学社 Eーレ

いけのまんなかのちいさなしまに、さんびきのかえるがすんでいました。さんびきはまいにちけんかで「ぼくのだ！わたしのよ！」とさけんではかり。あるひ、おおきなひきかえるがあらわれ、さんびきのかなきりごえのせいで、こころがやすまらないとおこられてしまいます。

## かえるのそらとぶけんきゅうじょ

村上 勉 作 偕成社 913ーム

もりのはずれのおおきなどんぐりの木きに、かえるとあまがえると、とかげがくらしていました。ある日、三ひにんさんはどんぐりの木きのはっぱをたべる「けむくじゃら」を見つけました。このままでは、なつのあつさからまもってくれるはっぱがなくなってしまいます。そこで三人さんにんはそうだんして「けむくじゃら」におねがいに行きます。

# かえるのエルタ

中川 李枝子 さく 福音館書店 913-ナ

かたは、みちばたのくさの中なかからのぞいている赤い自あかだまめをみつけました。それはおもちゃのあおがえるエルタでした。ある日ひ、ふたりがおとなりのくみこちゃんのところへあそびにいくと帰りに雨あめがふってきました。うちにかえってまどからそとをのぞくと、エルタのからだに雨あめがふりかかり、みどりいろにひかりました。

# あまがえるりょこうしゃ トンボいけたんけん

松岡 たつひで さく 福音館書店 E-マ

あまがえるのトンボいけたんけんは、おべんとうつきで500えんです。きょうのおきゃくはテントウムシ、ダンゴムシふうふ、かたつむり。ペットボトルでつくったボートにのって、たんけんにしゅっぱつすると、ひっくりかえってあおむけでおよぐムシがいたり、みずのなかはにぎやかでふしぎなことにあふれています。

# たのしい川べ

ケネス・グレアム 作 石井 桃子 訳 岩波書店 933-グ

ヒキガエル屋敷やしきは川かわのほとりではいちばん豪勢ごうせいです。ネズミとモグラはヒキガエルに屋敷やしきの馬うま小屋こやを案内あんないしてもらいます。するとヒキガエルは自分の箱馬車じぶん はこばしゃで旅行りょこうに行こうとさそいます。三人さんにんが街道かいどうをのんびりと進すすんでいると、自動車じどうしゃがもうれつないきおいで突進とっしんしてきました。